

令和4年度 社会福祉法人りべるたす 事業報告書

ヘルパーステーションりべるたす

グループホームりべらる

WORK STATION りべるたす

pre-WORK STATION りべるたす

相談支援センターこすもす

千葉市中央区障害者基幹相談支援センター

りべるたすクリニック

訪問看護ステーションりべるたす

喀痰吸引等研修

調査研究事業

さらなる困難の一年

新型コロナウイルス対策は引き続き、ようやく終息の兆しがみられたところになりました。しかしながら、コロナウイルス感染者が出ている時期も長く、入居者の方の生活の制限を強いることになり、新たな入居者を入れることができない。今年度予定の建設も1年遅れる等あり、大きな赤字となってしまいました。

法人本部としては、この一年人材育成には取り組みました。飛躍するための1年だったと思えるよう、令和5年度は気を引き締めて行わなくてはなりません。

来年度こちらに良い報告ができるよう、今日の前でできることを一つずつやっていけるよう努力したいです。

令和5年6月

理事長 伊藤佳世子

内容

内容	- 3 -
社会福祉法人りべるたすのおもい values	- 5 -
法人概要	- 9 -
ヘルパーステーションりべるたす 概要	- 10 -
グループホームりべらる 概要	- 11 -
グループホームはれ 概要	- 12 -
WORK STATION りべるたす 概要	- 13 -
Pre-WORK STATION りべるたす 概要	- 13 -
相談支援センターこすもす 概要	- 14 -
千葉市中央区障害者基幹相談支援センター 概要	- 14 -
りべるたすクリニック 概要	- 15 -
訪問看護ステーションりべるたす 概要	- 16 -
喀痰吸引等研修事業所りべるたす 概要	- 16 -
福祉用具貸与、販売りべるたす概要	- 17 -
令和3年度の事業 トピック	- 18 -
財務の状況	- 21 -
従業員の状況	- 25 -
りべるたす行事	- 27 -
各種会議	- 31 -
各種研修	- 36 -
ヘルパーステーションりべるたすの事業報告	- 37 -
グループホーム	- 38 -
相談支援センターこすもす	- 39 -

訪問看護ステーションりべるたすの事業報告	- 40 -
WORKSTATION りべるたすの事業報告	- 41 -
喀痰吸引等研修	- 44 -
研究事業	- 45 -
地域貢献事業	- 45 -

当法人の基本理念は「誰もが地域で生活し、活躍の機会をもてる社会を目指します」とする。

行動指針

- 一、私たちは、難しい事柄に遭遇したとき、評論家にならず解決に向けて行動します
- 一、私たちは、日々の行動に満足せず、自ら課題をもち考える姿勢をもち続けます
- 一、私たちは、組織内のチームワークはもちろんのこと、多様な人々との関係性を大切にします

私たちの支援の方針

一、障害にこだわらない支援

りべるたすではどんな障害も受け入れます。障害だけではなくその人を理解することが大切であり、その可能性を信じていきます。

一、生活の幅を広げ、開拓する支援

生活の幅を広げるために一緒にいろいろなことにチャレンジしていきます。できることをどう広げていけるかを考えます。そのことが地域への啓発にもつながります。

一、相手をおもう真摯な支援

生活していればいいことばかりではなく、嫌なことを言わないといけない場合もあります。一人の人間として真摯に尊重してその方を見て、しっかりと受け止めた支援をします。対応がいいことが真摯な支援ではありません。

一、つなげる／つながる支援

抱え込まないように、色々なサービスとつなげる、地域とつなげる、地域の資源をつなげる。それが小さな輪になったり大きな輪になったり、その人に合わせて笑顔でつながりをもって支えています。

社会福祉法人としての使命、経営の原則

社会福祉法人「アクションプラン 2025」をうけて、社会福祉法人の使命（社会的責任）の遂行として、「**社会、地域における福祉の充実・発展**」

- ① 社会福祉事業を主とした福祉サービスの供給主体の中心的な役割を果たす。
- ② 制度のはざまにあるものを含めて様々な福祉需要にきめ細かく対応する。

社会福祉法人行動指針

社会福祉法人は、「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、社会福祉事業の安定的・継続的経営に努めるとともに、多様な生活課題や福祉需要に柔軟かつ主体的に取り組む公共的・公益的かつ信頼性の高い法人です。

会員法人は、社会福祉法人の使命を果たすため、次の行動指針に基づく経営を実践します。

I. 経営に対する基本姿勢

- 1 経営者としての役割
- 2 組織統治（ガバナンス）の強化
- 3 健全で安定的な財務基盤の確立
- 4 コンプライアンス（法令等遵守）の徹底

II. 支援に対する基本姿勢

- 5 人権の尊重
- 6 包括的支援の充実・展開
- 7 サービスの質の向上
- 8 安心・安全の環境整備

III. 地域社会に対する基本姿勢

- 9 地域共生社会の推進
- 10 信頼と協力を得るための積極的な PR

IV. 福祉人材に対する基本姿勢

- 11 中長期的な人材戦略の構築
- 12 人材の採用に向けた取組の強化
- 13 人材の定着に向けた取組の強化
- 14 人材の育成に向けた取組の強化

I 経営に対する基本姿勢 ～自主性・自律性をもって未来志向で事業を展開する社会福祉法人～

行動指針 I

社会福祉法人の経営者は、リーダーシップを発揮し、「アクションプラン 2025」に基づいた取組を実践するとともに、地域の生活課題や福祉ニーズに対して素早く対応します。また、中長期的な視点から福祉に従事する者（現役世代）の減少に伴い、現在より人手不足の深刻度を増すことが予想される中、業務の価値を高めるために生産性の向上に努めます。

行動指針 2

国民の負託に応えるべく、公正かつ透明性の高い適正な経営を可能にする実効性のある組織体制を構築して組織全体を適切に統治します。

行動指針 3

公益性の高い事業活動の推進および信頼性の高い効果的な経営の観点から、健全な財務基盤を確立します。

行動指針 4

社会福祉法など関係法令はもとより、法人の理念や諸規程さらには広い意味での社会的ルールやモラルを遵守した経営を行います。

II 支援に対する基本姿勢 ～地域全体を支え、制度の狭間のニーズに応える社会福祉法人～

行動指針 5

制度では対応できないニーズを把握して応えていく姿勢、家族なども含めた生活全体を支える姿勢を明確に示し、すべて人々の人権と尊厳を尊重して、本人の自己決定・自己選択に配慮した支援をします。

行動指針 6

福祉サービスの利用者に限らず、福祉的支援が必要な人を誰一人取り残さないよう、ソーシャルワークを充実展開していきます。

行動指針 7

福祉サービス利用者の立場に立って、品質の向上に向けた体制を構築し、適切かつ良質なサービスを提供します。

行動指針 8

安心・安全で良質な福祉サービスを提供するため、利用者の生活環境・利用環境を整備します。

III 地域社会に対する基本姿勢 ～地域生活課題に対して包括的かつ公益的に取り組む社会福祉法人～

行動指針 9

既存の制度では対応が困難な多様化・複雑化する地域課題や生活課題に高い専門性をもって積極的にかかわり、多様な関係機関や個人との連携・協働を図り、地域における公益的な取組を推進します。また、必要な支援を包括的に確保し、地域包括ケアを深化、推進させ、地域共生社会の実現を主導します。

行動指針 10

社会福祉法人が非営利法人として、社会福祉法人の使命を果たし、自立的な経営を確立していくためには、財源負担者たる国民からの信頼や協力が不可欠です。“見える化”にとどまらない“見せる化”を推進し、国民の信頼と協力を得るために、積極的な PR (Public Relations) に取り組みます。

IV 福祉人材に対する基本姿勢 ～福祉人材の採用・育成・定着に取り組む社会福祉法人～

行動指針 11

経営理念に基づき、めざす法人経営を実現するために、期待する職員像を内外に明示し、外部・内部環境を踏まえた中長期的な人材戦略を構築します。また、法人内サービスに留まらず、既存の制度では対応できない地域社会の福祉ニーズに応えることができるよう、種別の枠をえて、包括的な支援を行うことのできる人材育成をめざします。

行動指針 12

良質な福祉人材の採用に向け、様々な手段を講じます。また、将来の福祉人材育成の視点から、福祉の仕事の啓発として情報発信、福祉教育にも取り組みます。

行動指針 13

福祉サービスの継続と発展のために、職員処遇全般の向上、働きがいのある職場づくりに取り組みます。また、多様な職種、多様な背景を持った人材、雇用形態、年代の人材が働きやすい職場づくりを推進します。

行動指針 14

それぞれの法人がめざす職員像に基づき、職務能力の開発および全人的な成長を目的とした人材育成に取り組みます。また、組織において、福祉サービスの質と量の向上の「要」となるリーダー層の育成に取り組みます。さらに、「地域共生社会」を実現する総合的な人材の育成にも取り組みます。

法人概要

法人名称	社会福祉法人りべるたす（2016年4月1日登記）		
主たる事務所	〒260-0802 千葉市中央区川戸町468番地1		
	電話	043-497-2373	FAX 043-497-2127
理事長	伊藤 佳世子（千葉市）		
理事	堀 智 貴（厚木市）	執行理事	
	下河原 忠 道（浦安市）	株式会社シルバーウッド代表取締役	
	高 木 憲 司（船橋市）	和洋女子大学准教授	
	箕 輪 晃（佐倉市）	株式会社協同工芸社代表取締役	
	竹 嶋 信 洋（千葉市）	株式会社ベストサポート代表取締役	
	池 田 敏 子（千葉市）	事務局長	
評 議 員	武 石 直 人（千葉市）	NPO法人外国人介護人材研究所理事長	
	納 元 佐知子（千葉市）	川戸地区住民代表	
	大 山 良 子（千葉市）	当事者代表	
	藤 尾 健 二（船橋市）	千葉障害者就労支援キャリアセンター長	
	佐久間 水 月（千葉市）	弁護士	
	栗 田 健（東京都）	社会福祉法人日の基福祉会理事	
	喜 本 由美子（船橋市）	NPO法人ラフト代表	
	林 晃 弘（白井市）	社会福祉法人フラット理事長	
監 事	柳 町 和 巳（船橋市）	税理士法人スタート代表	
	桑 本 博（船橋市）	行政書士	
事業の種類	1. 第二種社会福祉事業（イ）障害福祉サービス事業の経営 （ロ）特定相談支援事業の経営 （ハ）一般相談支援事業の経営 （ニ）障害児相談支援事業の経営 （ホ）移動支援事業の経営 （ヘ）老人居宅介護等事業の経営 2. 公益を目的とする事業（1）研修事業 （2）診療所の経営 （3）社会福祉に関する調査研究事業 （4）福祉用具貸与・販売 （5）住宅改修 （6）居宅介護支援事業 （7）千葉市障害者基幹相談支援センターの運営		
所 轄 庁	千 葉 市		

ヘルパーステーションりべるたす 概要

事業名称 りべるたす

管理者 齋藤みさ子

所在地 〒260-0802 千葉市中央区川戸町468番地1

電話 043-497-2373 FAX 043-497-2127

事業指定日 平成28(2016)年4月1日

事業の種類 1 指定障害福祉サービス事業

居宅介護、重度訪問介護、同行援護(1210103741)

移動支援 千葉市(1260103740) 八千代市(1260401235)

市川市(1260361512) 鎌ヶ谷市(2242053)

四街道市(1260) 市原市(1260610926)

横芝光町 大網白里市

茂原市 東金市

2 指定介護保険事業

訪問介護(1270104803)

総合事業(1270104803)

苦情受付担当者 管理者

協力医療機関 りべるたすクリニック

グループホームりべらる 概要

事業名称 りべらる

管理者 天野喜彦

所在地 〒260-0802 千葉市中央区川戸町 468 番地 1

電話 043-497-2373 FAX 043-497-2127

事業指定日 平成28(2016)年9月1日

事業の種類 指定障害福祉サービス事業

共同生活援助・介護サービス包括型 (1220100364)

空床利用型短期入所 (1210103956)

日中一時支援 (1260103955)

苦情受付担当者 サービス管理責任者

防火管理者 天野喜彦

協力医療機関 りべるたすクリニック

グループホームはれ 概要

事業名称 はれ

管理者 小笠原 信子

所在地 〒273-0035 千葉県船橋市本中山 2-2-4

電話・FAX 047-712-8010

事業指定日 平成30(2018)年6月1日

事業の種類 指定障害福祉サービス事業

共同生活援助・介護サービス包括型(1222800318)

空床利用型短期入所(1212802282)

苦情受付担当者 サービス管理責任者

防火管理者 天野 喜彦

協力医療機関 土居内科医院

WORK STATION りべるたす 概要

事業名称 WORK STARTION りべるたす

管理者 岡本拓也

所在地 〒260-0854 千葉市中央区長洲 2-13-6

電話 043-235-8410 FAX 043-238-8420

事業指定日 平成30(2018)年10月1日

事業の種類 指定障害福祉サービス事業

自立訓練(生活訓練)・訪問型自立訓練(1210104236)

生活介護(1210104236)

就労継続支援B型(1210104236)

苦情受付担当者 管理者

Pre-WORK STATION りべるたす 概要

事業名称 pre-WORK STARTION りべるたす

管理者 堀 智貴

所在地 〒260-0802 千葉市中央区川戸 411-7

電話・FAX 043-310-7715

事業指定日 令和2(2020)年7月1日

事業の種類 指定障害福祉サービス事業

生活介護(1210104772)

苦情受付担当者 管理者

相談支援センターこすもす 概要

事業名称 相談支援センターこすもす

管理者 池田 敏子

所在地 〒260-0802 千葉市中央区川戸町 468 番地 1

電話 043-497-2728 FAX 043-497-2127

事業指定日 平成28(2016)年9月1日

事業の種類 指定障害福祉サービス事業

特定相談、一般相談支援事業 (1230100610)

障害児相談支援事業 (1270100322)

自立生活援助 (1210104178)

苦情受付担当者 管理者

千葉市中央区障害者基幹相談支援センター 概要

事業名称 千葉市中央区障害者基幹相談支援センター

管理者 伊藤 佳世子

所在地 〒260-0854 千葉市中央区長洲2-13-4-101

電話 043-445-7733 FAX 043-445-7785

事業指定日 令和2(2020)年10月1日

事業の種類 公益事業

相談支援事業

苦情受付担当者 管理者

りべるたすクリニック 概要

事業名称 りべるたすクリニック

院長 橋本弘史

所在地 〒260-0843 千葉市中央区長洲2-13-4-101号
電話 043-305-4688 FAX 043-497-2127

事業指定日 平成30(2018)年5月1日

事業の種類 医療保険

介護保険

特定疾患治療費

児童福祉法による小児慢性特定疾病医療支援

難病の患者に対する医療費等に関する法律による特定医療

指定自立支援医療機関

労災指定医療機関

生活保護指定医療機関

診療科 内科

診療日 水曜日の9時から18時、金曜日13時から18時 予約外来

苦情受付担当者 宮原 美紀

訪問看護ステーションりべるたす 概要

事業名称 訪問看護ステーションりべるたす

管理者 宮原 美紀

所在地 〒260-0802 千葉市中央区川戸町 468-1

電話 043-309-5510 FAX 043-497-2127

事業指定日 令和元（2019）年7月1日

事業の種類 医療保険

介護保険

特定疾患治療費

児童福祉法による小児慢性特定疾病医療支援

難病の患者に対する医療費等に関する法律による特定医療

生活保護指定医療機関

苦情受付担当者 管理者

喀痰吸引等研修事業所りべるたす 概要

事業名称 喀痰吸引等研修事業所りべるたす

担当者 池田 敏子

所在地 〒260-0802 千葉市中央区川戸町 468 番地 1

電話 043-497-2373 FAX 043-497-2127

事業指定日 平成28（2016）年11月1日

事業の種類 喀痰吸引等研修事業所（1220023）

福祉用具貸与、販売りべるたす概要

事業名称 福祉用具貸与、販売りべるたす

管理者 河合正文

所在地 〒260-0802 千葉市中央区川戸町 468 番地 1

電話 043-497-2373 FAX 043-497-2127

事業指定日 平成30(2018)年5月1日

事業の種類 指定介護保険事業

福祉用具貸与 (1270104985)

福祉用具販売

苦情受付担当者 管理者

令和4年度の事業 トピック

1. 体制整備

●バックオフィス体制の整備

現場での負担を減らし、現場が業務に集中できるようにバックオフィスの体制を整備するために令和3年度より現場担当事務を配置している。令和4年度は、それぞれの事務担当者と同現場管理者の役割分担が明確になり、バックオフィスとしての機能が発揮できてきた1年となった。

●組織の階層化

それぞれの事業において、管理者に続くリーダー層の育成に力を入れている中、グループホームでは先行して、ホーム長やサブホーム長を配置して階層化に取り組んでいたが、令和4年度になって、ホーム長といわれるリーダー層が管理者の兼務ではなく、単独のリーダーを据えることができるようになった。通所事業も事業内容を分けることでそれぞれのリーダー層の育成に取り組んでいる。

新しい事業を見据えた体制整備を行った。

2. 事業収支の悪化

●水光熱費の高騰

光熱水費の高騰により、昨年度比率で月別では150%超えるときもあったが、節電等の取り組みを進めることで年度としては、127%増という結果となった。各居室の冷暖房や呼吸器等の電子機器など常に電力が必要な機器が多いことで、電力等の上昇に対して、節電などの対応だけではまかなえない状況となっている。

●人件費率の上昇

人材確保においては、外部の採用サイトを利用し、合計27名の職員の採用を行いました。この中には計画が伸びている状況ですが新規事業への先行投資としての人材も含まれている。さらに、重度訪問介護の大幅な減収により、人件費率が大きく上昇して、収支を圧迫する結果となった。

事務部門においてもバックオフィス体制の整備により、人材像により体制整備としては整っているが、肥大化傾向になってしまいがちなバックオフィスは常に効率的な運営を意識する必要がある。また重度訪問介護においては、サービス提供に応じた適切な人件費率のための人材の整理が必要となる。

●入居者・利用者の入れ替えによる減収

ホームヘルプ部門では、重度訪問介護で入っていた方がなくなったり、遠隔地で支援を続けていた方を他の事業所へ移行したことで7名の利用者の終了があり大きな減収となった。

プレワークステーションでは、利用者数は前年度よりも増えていますが、前年度に申請していた送迎加算の返戻やコロナによる利用率の低下により減収となった。

グループホームでは、年末にかけて亡くなられた方や長期入院などが重なり、年末からは比較的空床ができたことで前年度と比較して減収となった。

それぞれの事業を空きがなく継続していけるようにしていくことを、支援量に合わせた人件費等の支出の見直しを図る必要がある。

【利用の状況】

		R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	平均利用
りべらる	利用者数	52	52	52	49	50	49	48	47	48	47	48	49	49.3
	定員数	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54.0
	利用率	96.3%	96.3%	96.3%	90.7%	92.6%	90.7%	88.9%	87.0%	88.9%	87.0%	88.9%	90.7%	91.2%
りべらる短期	日数	28	30	5	14	25	28	44	30	23	24	42	17	計310
はれ	利用者数	9	10	10	10	10	10	7	7	7	7	7	7	8.4
	定員数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10.0
	利用率	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	84.2%
はれ短期	日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	計3
WORK STATIONりべらる たす (生活介護)	定員数	15	15	15	23	23	23	23	23	23	23	23	23	21.0
	利用率	72.3%	80.7%	89.4%	55.7%	55.3%	66.5%	61.1%	66.3%	70.5%	60.6%	62.9%	68.5%	67.5%
WORK STATIONりべらる たす (就労B)	定員数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10.0
	利用率	98.0%	96.3%	100.0%	88.0%	87.7%	92.0%	90.0%	88.0%	98.9%	91.1%	94.2%	93.8%	93.2%
WORK STATIONりべらる たす (自立訓練)	定員数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6.0
	利用率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
pre WORK STATION	定員数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20.0
	利用率	45.0%	45.0%	40.0%	45.0%	50.0%	50.0%	45.0%	55.0%	50.0%	60.0%	65.0%	65.0%	51.3%

利用状況を見ても、コロナでの影響が出ている。令和4年7月から利用率が下がっているが、コロナ禍の状況で既存入居者に行動制限等をお願いしている中で、新規に入居者を入れることができなかつたため入居率が減少していった。その間必要な短期入所や体験をできる限りでは進めてきたが、入居者との接触がないような場所での受け入れをおこなうため、新たな人の配置をせざるをえなかつたことも人件費増につながっている。基幹相談支援センターからの100日以上緊急の受け入れも行っており、こちらも短期・体験と同様、隔離されたが場所での対応をしていた。

3. 新規事業立ち上げの準備

令和4年度千葉市重度障害者グループホーム等整備事業において、当法人の事業計画（グループホーム12床+生活介護20名定員）が採択され、令和4年度の開設を進めてきた。

令和4年8月2日の交付決定を受け、建築のための開発許可及び入札等を進めていくにあたって、世界情勢が大きく変わってきたことで、建築資材の高騰や入手が難しくなってきた状況で、建築金額の見直しが必要となった。今年度は年度末ぎりぎりに入札を行うことまでしか進めることができなかった。

当初は令和5年度より事業実施の予定となっていたが、1年の遅れとなっていることで、そのために準備をしていた人件費や土地賃料などの費用の負担が出てきてしまった。

令和4年度の補助金は令和5年度への繰り越しの申請は受理されており、令和5年度の開設に向けて準備を進めていく。

4. 防災への環境強化

令和4年度も各グループホームに年2回の防災訓練を実施した。消火訓練と発電機の訓練及び外への非難を想定した防災訓練を実施した。



また、千葉市の障害福祉基金充当事業を活用し、以下の物品の購入に充て、防災への体制を整備した。

- ・災害用倉庫 2つ
- ・冷蔵庫 1つ
- ・TV 1つ
- ・救護担架ベルカ 1つ
- ・スリングシート 1つ
- ・トイレ用スリング 1つ
- ・布団 6つ
- ・冷凍庫 1つ
- ・LED ランタン 8つ



5. 新型コロナウイルス対策の徹底

利用者 20 名、職員 22 名の陽性者の発生があったものの徹底した拡大防止対応により、クラスターの発生は 0 となっております。

●ワクチン接種の実施

グループホームの入所者において、ワクチンを希望する人が自分で接種を受けることが困難な方に対して、法人が他のクリニックと連携して集団の予防接種を実施した。ワクチンを希望する職員が接種を早くに受けられるようにシフトの調整などを行いました。

●感染対策のための体制整備

職員と利用者の発熱管理、徹底したゾーニング管理、行動制限、面会制限を行って参りました。そのために必要な防護服、マスク、消毒液が不足しないように整備した。陽性者が発生した場合は、隔離措置をとり、対応人数を絞り、24 時間体制での対応を行った。

6. 行政監査の結果

令和 4 年度は、法人本部 (R4. 10. 20)、グループホームりべる (R4. 10. 20)、プレワークステーション (R4. 7. 1)、ホームヘルプりべるたす (R4. 11. 30) の 4 つの部門で行政監査が行われた。各事業に対する指導項目はありませんでした。

財務の状況

社会福祉法人となって7期目の決算となりました今年度は、新規事業の準備のための体制整備の一年でした。財務の状況では、一昨年度より約 4 千万円減収となり、費用として人件費が 6 千万円と大幅に増加したことにより約 8 千万円の赤字となりました。新規事業に向けて人件費が増大したことなど依然、新たな事業に向けて資金的には苦しい状況は続いています。人件費率は 82%となっております。

【拠点区分】

(1) 社会福祉事業区分

- ①法人本部拠点区分
- ②川戸町拠点区分
 - ア 障害福祉サービス
 - イ 介護保険事業
 - ウ グループホームりばらる
 - エ 相談支援センターこすもす
 - オ 移動支援事業
 - カ PRE WORK STATIONりべるたす
- ③WORK STATION りべるたす拠点区分
 - ア 自立訓練
 - イ 生活介護
 - ウ 就労継続支援B型
- ④グループホームはれ拠点区分
- ⑤グループホームりばらる長洲拠点区分

2) 公益事業区分

- ①川戸町拠点区分
 - ア 研修事業
 - イ 福祉用具貸与・販売
 - ウ 居宅介護支援事業
 - エ 調査研究事業
 - オ 訪問看護ステーション
- ②診療所拠点区分
- ③基幹相談支援センター拠点区分

➤ 財務ハイライト

(売り上げの減少)

□ホームヘルプ事業

重度訪問介護の訪問件数の減少

□短期入所事業

コロナにより受け入れが減少

□通所事業

プレワークステーションの送迎加算の返戻とコロナによる利用率の減少

→ホームヘルプ事業の減少を防ぐ(事業の人材育成ととらえ、積極的に重度訪問介護を増やす)

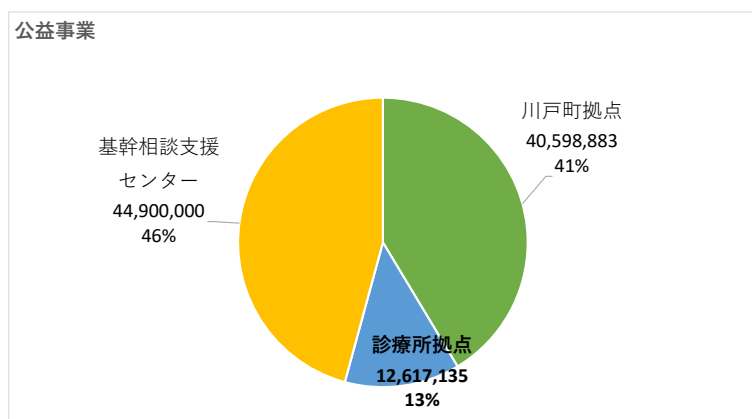
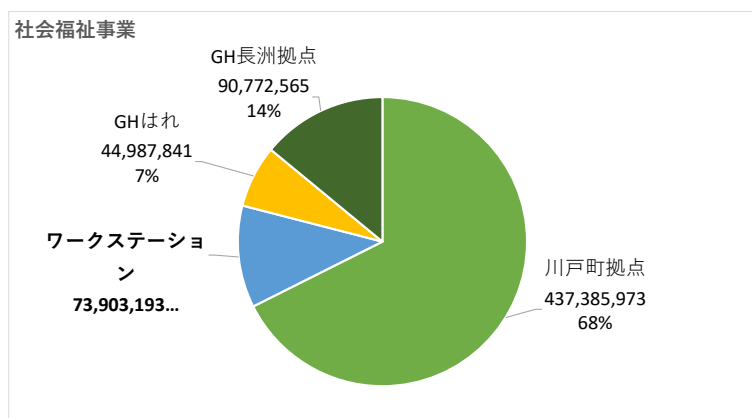
→新規事業の100%スタートを目指すとともに、工期が遅れている中で先行できる事業があれば始めていく計画を立てる

→2024年の4月介護報酬改定に備えた情報収集を行う

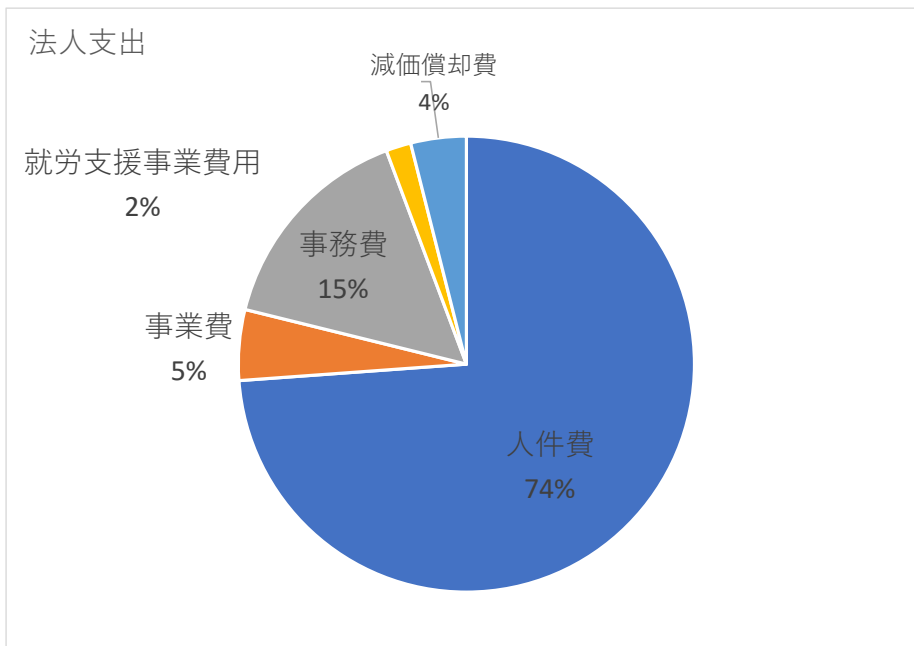
(支出の増大)

- 建築資材の高騰などによる新規事業の遅延による支出の増大
 - ・通所事業の人件費の増大
 - ・先行投資分への支払い
- 運営費用の高騰
 - ・光熱費の高騰
 - ・介護用品の高騰
 - 入居者への値上げが実施できず
- バックオフィス体制の整備による費用の増大
 - ・事務部門の人件費の増大
 - ICT化による効率化が必要(常に効率的な運営を意識しコスト管理を行う)
- コロナによる利用率の減少
 - ・短期入所が減少
 - ・通所事業の利用率が下がる
 - 積極的な受け入れを行う
- 訪問看護事業の人件費増加
 - 看護師の通所事業への再配置を検討する

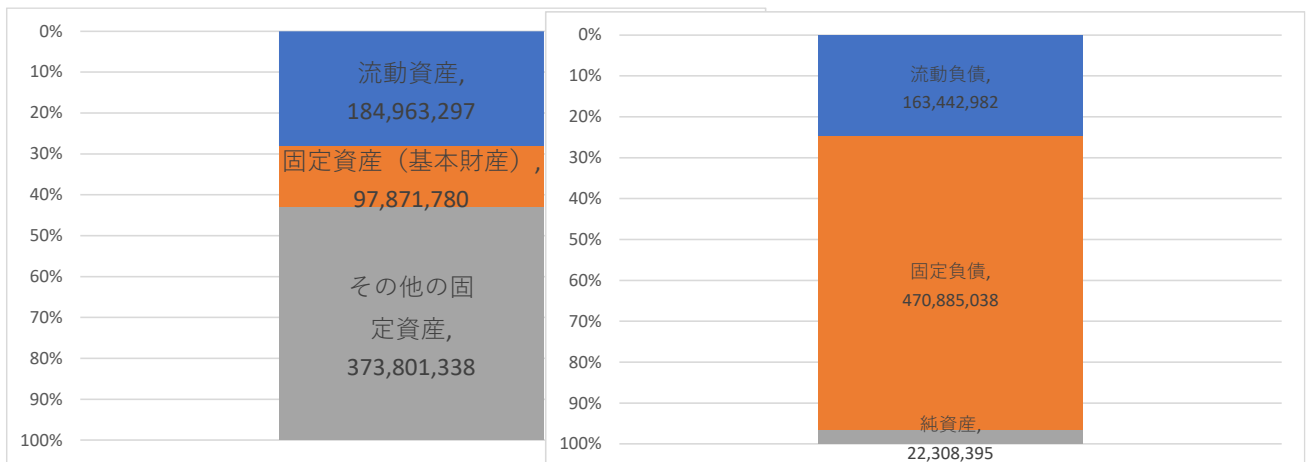
事業活動収入計 745,165,590 円



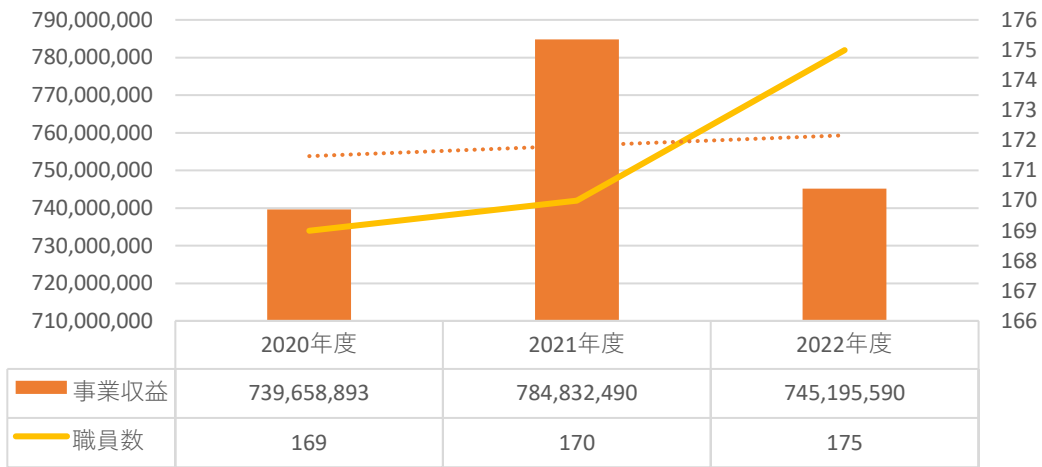
事業活動費用計 830,768,421 円



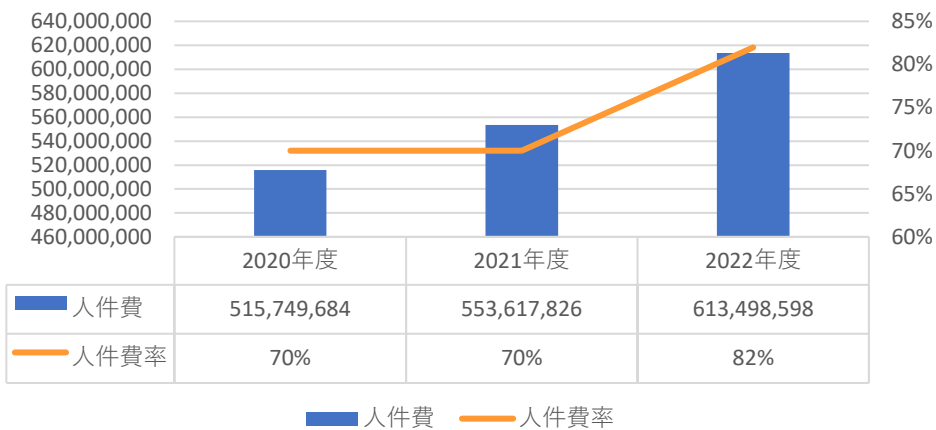
貸借対照表 (656,636,415 円)



サービス活動収益の推移



人件費率の推移



従業員の状況

令和5年3月31日現在 りべるたす株式会社、社会福祉法人りべるたすの合計

職員数 175名 うち正規職員 89名、非正規職員 86名うち 65歳以上の職員50名

離職率 3.5%(6名)

入職率 15.4%(27名)

障害者雇用率 2.3%

※1名分が調整金の該当(27,000円)、1名が特例給付金に該当(84,000円)

□育児休業の取得状況

	出産者数（男性は配偶者）	取得者数	取得率
男性	2	0	0%
女性	1	1	100%

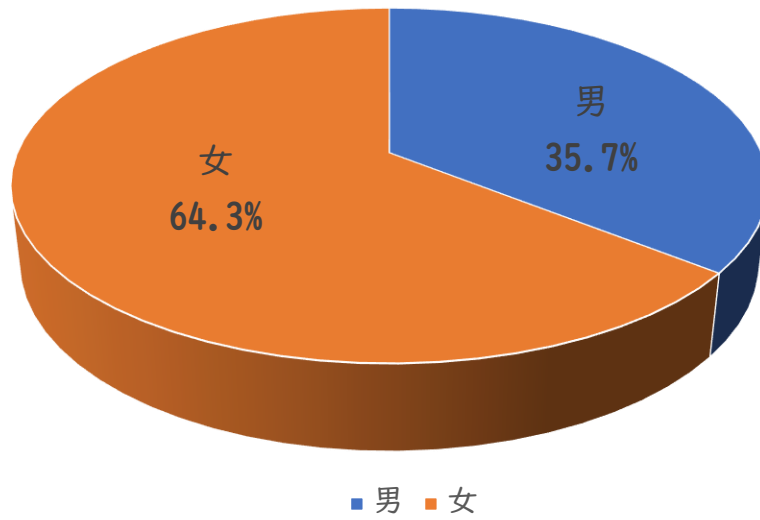
【退職金の状況】

退職金積み立て共済は常勤職員全員が加入(100%)

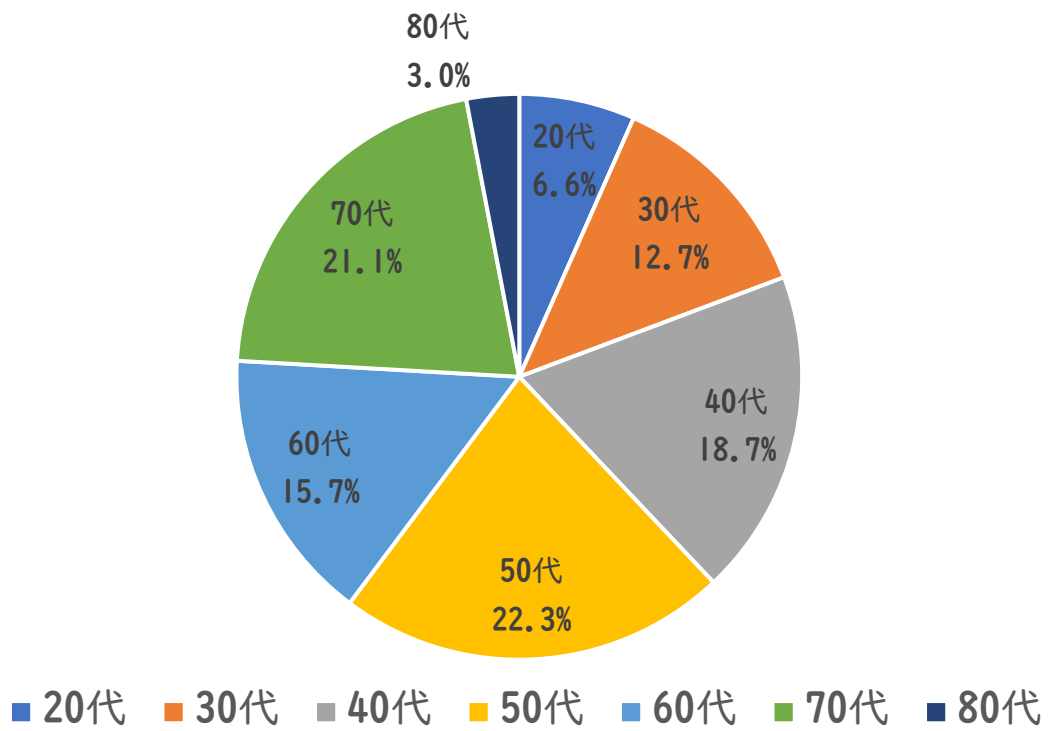
【資格内訳】

介護福祉士	44人
ヘルパー1級	2人
ヘルパー2級・初任者研修修了者	71人
実務者研修修了者	16人
喀痰吸引等研修修了者	91人
社会福祉士	13人
精神保健福祉士	3人
理学療法士	1人
看護師	5人
准看護師	3人
保育士	2人
医師	1人

男女比



年齢別



りべるたす行事

➤ 事業所内行事

2022年6月5日 グループホーム利用者サッカー観戦

2022年8月25、26日 職員健康診断

2022年12月1日 川戸小学校「町たんけん」受け入れ

2022年8月1～9月1日・17日 実習生受け入れ

2023年1月3日 りべるたす初詣

2023年2月24日 深夜勤務者対象健康診断

2023年2月17日～3月30日（期間の内計6回） グループホーム利用者ドイツ村観光

➤ 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会開催状況

■令和4年4月8日 理事会

第1号議案 袖ヶ浦福祉センター利用者受け入れに当たっての設備改修について

出席理事（6/7）

伊藤理事長、堀執行理事、高木理事、竹嶋理事、川畑理事、池田理事

■令和4年6月9日 理事会

第1号議案 令和3年度事業報告の承認（理事長・業務執行理事報告含む）

第2号議案 令和3年度決算の承認

第3号議案 新理事候補者の決定

第4号議案 新評議員候補者案の決定

第5号議案 評議員選任解任委員会の開催日の日程の決定

第6号議案 評議員会開催日議案の決定

出席理事（7/7）

伊藤理事長、堀執行理事、高木理事、下河原理事、竹嶋理事、川畑理事、池田理事

■令和4年6月15日 評議員選任解任委員会

第1号議案 新評議員の決定

出席委員（3/3）

鎮守委員、桑本委員、林委員

出席理事

堀執行理事

■令和4年6月24日 評議員会

第1号議案 貸借対照表・収支計算書・財産目録の承認

第2号議案 役員報酬総額について

第3号議案 新理事の選任

（報告）

1. 令和3年度事業報告

出席評議員（8/8）

武石評議員、大山評議員、藤尾評議員、佐久間評議員、納元評議員
喜本評議員、栗田評議員、林評議員

出席理事

伊藤理事長、堀執行理事、池田理事

■令和4年11月11日 理事会

第1号議案 おゆみ野計画における共同生活援助及び生活介護事業開設に伴う新築工事にかかる資金計画、担保提供および連帯保証人加入の件

出席理事（7/7）

伊藤理事長、堀執行理事、高木理事、下河原理事、竹嶋理事、川畑理事、池田理事

■令和4年12月12日 理事会

第1号議案 おゆみ野計画における共同生活援助及び生活介護事業開設に伴う新築工事にかかる入札参加業者の選定基準

第2号議案 おゆみ野計画における共同生活援助及び生活介護事業開設に伴う新築工事にかかる入札の予定価格及び最低制限価格の選定基準

出席理事（7/7）

伊藤理事長、堀執行理事、高木理事、下河原理事、竹嶋理事、箕輪理事、池田理事

■令和4年12月27日 理事会

第1号議案 おゆみ野計画における共同生活援助及び生活介護事業開設に伴う一般競争入札参加業者の選定

出席理事（5/7）

伊藤理事長、堀執行理事、高木理事、竹嶋理事、池田理事

■令和5年3月24日 理事会

第1号議案 おゆみ野計画における共同生活援助及び生活介護事業開設に伴う一般競争入札の落札業者との契約について

第2号議案 おゆみ野計画における共同生活援助及び生活介護事業開設に伴う新築工事にかかる資金計画、担保提供及び連帯保証人加入の変更について

出席理事（6/7）

伊藤理事長、堀執行理事、高木理事、竹嶋理事、箕輪理事、池田理事

■令和5年3月30日 理事会

第1号議案：令和4年度補正予算案について

第2号議案：令和5年度事業計画（案）について

第3号議案：令和5年度予算（案）について

（報告事項）

令和4年度事業の報告（理事長・業務執行理事報告を含む）

出席理事（7/7）

伊藤理事長、堀執行理事、高木理事、下河原理事、竹嶋理事、箕輪理事、池田理事

各種会議

➤ 管理者会議

開催日	時間
令和4年4月4日	8:30 ~ 9:00
令和4年4月11日	8:30 ~ 9:00
令和4年4月18日	8:30 ~ 9:00
令和4年4月25日	8:30 ~ 9:00
令和4年5月9日	8:30 ~ 9:00
令和4年5月16日	8:30 ~ 9:00
令和4年5月23日	8:30 ~ 9:00
令和4年5月30日	8:30 ~ 9:00
令和4年6月6日	8:30 ~ 9:00
令和4年6月13日	8:30 ~ 9:00
令和4年6月20日	8:30 ~ 9:00
令和4年6月27日	8:30 ~ 9:00
令和4年7月4日	8:30 ~ 9:00
令和4年7月11日	8:30 ~ 9:00
令和4年7月19日	8:30 ~ 9:00
令和4年7月25日	8:30 ~ 9:00
令和4年8月1日	8:30 ~ 9:00
令和4年8月8日	8:30 ~ 9:00
令和4年8月15日	8:30 ~ 9:00
令和4年8月22日	8:30 ~ 9:00
令和4年8月29日	8:30 ~ 9:00
令和4年9月5日	8:30 ~ 9:00
令和4年9月12日	8:30 ~ 9:00
令和4年9月20日	8:30 ~ 9:00
令和4年10月3日	8:30 ~ 9:00
令和4年10月11日	8:30 ~ 9:00
令和4年10月17日	8:30 ~ 9:00
令和4年10月24日	8:30 ~ 9:00
令和4年10月31日	8:30 ~ 9:00
令和4年11月7日	8:30 ~ 9:00
令和4年11月14日	8:30 ~ 9:00
令和4年11月21日	8:30 ~ 9:00

令和4年11月28日	8:30 ~ 9:00
令和4年12月5日	8:30 ~ 9:00
令和4年12月12日	8:30 ~ 9:00
令和4年12月19日	8:30 ~ 9:00
令和4年12月26日	8:30 ~ 9:00
令和5年1月4日	8:30 ~ 9:00
令和5年1月10日	8:30 ~ 9:00
令和5年1月16日	8:30 ~ 9:00
令和5年1月23日	8:30 ~ 9:00
令和5年1月30日	8:30 ~ 9:00
令和5年2月6日	8:30 ~ 9:00
令和5年2月13日	8:30 ~ 9:00
令和5年2月20日	8:30 ~ 9:00
令和5年2月27日	8:30 ~ 9:00
令和5年3月6日	8:30 ~ 9:00
令和5年3月13日	8:30 ~ 9:00
令和5年3月22日	8:30 ~ 9:00
令和5年3月27日	8:30 ~ 9:00

➤ 安全衛生委員会

会議名 2022年4月度安全衛生委員会

月日: 2022年4月28日(木)

時間: 17:00~17:30

場所: りべるたす事務所(千葉市中央区川戸町 468-1)

出席者: 産業医:橋本医師、伊藤理事長、堀安全衛生委員長、馬上安全衛生管理者
池田委員、林委員、小山委員、藤嶋委員、天野委員、齋藤委員

会議名 2022年5月度安全衛生委員会

月日: 2022年5月25日(水)

時間: 8:30~9:30

場所: りべるたす事務所(千葉市中央区川戸町 468-1)

出席者: 産業医:橋本医師、伊藤理事長、堀安全衛生委員長、馬上安全衛生管理者
池田委員、林委員、小山委員、藤嶋委員、天野委員、齋藤委員、阪本委員、本多委員

会議名 2022年6月度安全衛生委員会

月日: 2022年6月28日(水)

時間: 8:30~9:30

場所: りべるたす事務所(千葉市中央区川戸町 468-1)

出席者: 産業医:橋本医師、堀安全衛生委員長、馬上安全衛生管理者
池田委員、林委員、小山委員、藤嶋委員、天野委員、齋藤委員、阪本委員、本多委員

会議名 2022年7月度安全衛生委員会

月日: 2022年7月27日(水)

時間: 8:30~9:30

場所: りべるたす事務所(千葉市中央区川戸町 468-1)

出席者: 産業医:橋本医師、堀安全衛生委員長、馬上安全衛生管理者
池田委員、林委員、小山委員、藤嶋委員、天野委員、齋藤委員、阪本委員、本多委員

会議名 2022年8月度安全衛生委員会

月日： 2022年8月31日(水)

時間： 8:30~9:30

場所： りべるたす事務所(千葉市中央区川戸町468-1)

出席者：産業医：橋本医師、堀安全衛生委員長、馬上安全衛生管理者

池田委員、林委員、小山委員、天野委員、齋藤委員、阪本委員、本多委員、鶴岡委員、小林委員

会議名 2022年9月度安全衛生委員会

月日： 2022年9月28日(水)

時間： 8:30~9:30

場所： りべるたす事務所(千葉市中央区川戸町468-1)

出席者：産業医：橋本医師、堀安全衛生委員長、馬上安全衛生管理者

池田委員、林委員、小山委員、天野委員、齋藤委員、本多委員、鶴岡委員、小林委員

会議名 2022年10月度安全衛生委員会

月日： 2022年10月27日(木)

時間： 8:30~9:30

場所： りべるたす事務所(千葉市中央区川戸町468-1)

出席者：産業医：橋本医師、堀安全衛生委員長、馬上安全衛生管理者

池田委員、小山委員、天野委員、齋藤委員、阪本委員、本多委員、鶴岡委員、小林委員

会議名 2022年11月度安全衛生委員会

月日： 2022年11月30日(水)

時間： 8:30~9:30

場所： りべるたす事務所(千葉市中央区川戸町468-1)

出席者：産業医：橋本医師、堀安全衛生委員長、馬上安全衛生管理者

池田委員、小山委員、齋藤委員、阪本委員、本多委員、鶴岡委員、小林委員

会議名 2022年12月度安全衛生委員会

月日: 2022年12月21日(水)

時間: 8:30~9:30

場所: りべるたす事務所(千葉市中央区川戸町468-1)

出席者: 産業医:橋本医師、堀安全衛生委員長、馬上安全衛生管理者

池田委員、林委員、小山委員、藤嶋委員、天野委員、齋藤委員、阪本委員、鶴岡委員、小林委員

会議名 2023年1月度安全衛生委員会

月日: 2023年1月25日(水)

時間: 8:30~9:30

場所: りべるたす事務所(千葉市中央区川戸町468-1)

出席者: 産業医:橋本医師、堀安全衛生委員長、馬上安全衛生管理者

池田委員、林委員、小山委員、藤嶋委員、齋藤委員、阪本委員、小林委員

会議名 2023年2月度安全衛生委員会

月日: 2023年2月22日(水)

時間: 8:30~9:30

場所: りべるたす事務所(千葉市中央区川戸町468-1)

出席者: 産業医:橋本医師、堀安全衛生委員長、馬上安全衛生管理者

池田委員、林委員、小山委員、藤嶋委員、齋藤委員、鶴岡委員、小林委員

会議名 2023年3月度安全衛生委員会

月日: 2023年3月29日(水)

時間: 8:30~9:30

場所: りべるたす事務所(千葉市中央区川戸町468-1)

出席者: 産業医:橋本医師、堀安全衛生委員長、馬上安全衛生管理者

池田委員、林委員、小山委員、藤嶋委員、天野委員、齋藤委員、阪本委員、本多委員、鶴岡委員
小林委員

各種研修

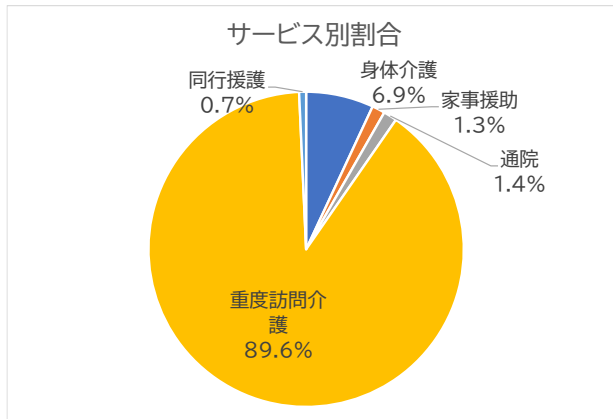
➤ 職員研修

サポーターズカレッジWEB講座	
令和4年度	障がい者福祉とは
	グループホーム概論!
	利用者にやさしい施設
	障がい者虐待防止
	新型コロナウイルスと障がい者支援のこれから
	てんかん
	統合失調症と陽性症状の支援
	障がい者との関係構築
	精神障がい
	障がい者支援の理念とは
	理念の実践と人材育成
	業務の標準化
その他の研修	
2022/5/17	新人研修
2022/5/13, 14	メインストリーム協会、青葉園、しえあーど視察研修
2022/5/25	管理者研修
2022/5/26	拡大管理者研修
2022/6/22	リーダー研修 医療的ケアについて
2022/7/25~8/12	全体研修(動画視聴)
2022/9/14	リーダー研修 各事業所の役割
2022/11/4	グループホーム等連絡協議会研修
2022/11/11, 21	苦情解決研修会(動画視聴)
2022/11/24	リーダー研修 事例検討
2022/11/25	拠点研修会
2022/12/5	拡大管理者研修
2022/12/8, 20	全体研修 虐待防止の研修
2022/2/25	虐待モデル研修(国の施行研修)(事前動画視聴あり)
2023/3/13, 22	全体研修

ヘルパーステーションりべるたすの事業報告

➤ 利用者の状況

令和4年度年間派遣時間数 総時間数 46,120 時間



事務部門との連携を強化して、利用者様に関する情報管理を現場のヘルパーではなく事務担当者が行える体制を整えることで、より現場のサービス提供に力を注いでいくことができた。

■事業を継続していくために感染症予防対策等の徹底を図る。

支援時のマスクの着用、食事介助・排泄介助時等の手袋の着用等を徹底し、部屋の換気をする等の基本的な感染症予防対策を実施した。また、新型コロナウイルス感染疑惑等のある利用者に対しては、支援者の人数を絞って支援を行う等の感染症拡大防止の対策を行った。

■利用者の増減

(減少要因)

- ・今年度はホームヘルプ部門の利用者として4名の方が亡くなられた
- ・遠距離の利用者様が、住み慣れた地域で支援を継続して受けられるように、地域の事業者への移行を行った。

(増加要因)

- ・障害児の成長に伴い家族対応が困難となった入浴支援が増加した。
- ・移動支援・同行援護の事業所の減少により依頼が増加した。
- ・GHの体験入居や新規入居に伴うスポットでの支援が増加した。

■人材育成

ホームヘルプ会議を毎月開催し、リーダー層との情報共有を行った。

ケア会議については、リーダー層が主に実施した。

個別支援計画作成のOJTを頻回に行った。

グループホーム

- コロナ陽性者（利用者）が出た際に、早急に隔離し介助者を限定し対応。8月以降は利用者の支援内容を判断し、居室内隔離が可能な利用者に関しては移動せず、支援者がPPE対応を徹底してGH内での隔離対応
- コロナ禍の状況をみながら、可能な限り入居や短期体験の受入れを行った。
- 人材育成として、リーダー層の育成に力を入れた。GHホーム長、サブのが出席するGH会議を毎月（6回）実施。年間の研修計画を作成し（4回）実施。各ホーム毎のホーム（ケア）会議をホーム長主体で実施。
- 基幹相談センターと連携し、サテライトも利用しながら緊急対応の受入れを行った
- コロナの感染状況も緩やかになりGH入居者を対象にした外出イベントを実施

① 定員：63名（サテライト含む）

りべらる	すまいる 8:9 名 サテライト:2 名	すまいる 10:16 名	すまいる 13:8 名
	すまいる 15:6 名	すまいる 16:6 名	すまいる 17:6 名
はれ	はれ:5 名	はれ 2:5 名	

② 共同生活援助事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
すまいる 8 入居 9 床	8	8	8	8	8	8	6	7	7	7	8	8
すまいる 10 入居 16 床	16	16	16	15	15	15	15	14	14	14	15	16
すまいる 13 入居 8 床	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
すまいる 15 入居 6 床	7	7	7	5	6	5	6	6	6	6	5	6
すまいる 16 入居 6 床	7	7	7	7	7	7	7	6	7	6	7	7
すまいる 17 入居 6 床	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
はれ 入居 5 床	5	5	5	5	5	5	3	3	3	3	3	3
はれ 2 入居 5 床	4	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
りべらる短期・体験利用	2	2	2	2	2	3	3	6	5	6	6	3
はれ 短期・体験利用	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0

相談支援センターこすもす

千葉市障害者基幹相談支援センターの受託により、こすもすとしては計画相談の継続を主として事業を行っていった。体制を整備したことで、計画相談の件数は増加している。

▶ 計画相談利用者（令和5年3月現在）

合計104人

▶ 相談件数（令和5年3月現在）

	R4									R5		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特定相談支援												
計画相談	16	29	26	25	31	35	34	43	40	36	39	42
障害児相談	2	3	3	3	5	3	4	2	7	3	2	4
一般相談												
地域移行	1	1	2	2	3	4	5	5	3	2	2	3
自立生活援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

訪問看護ステーションりべるたすの事業報告

➤ 事業実績について

看護師の入れ変わりがあり。体制を整備している中で、訪問看護件数は横ばいの状況でした。グループホームを中心に活動をしており、ヘルパーの現地研修も相当数受けていますまた、短期や体験入居の方の医療ケアについても協力的に行ってきました。

令和3年度に看護師が激減したことで利用者数を減らした。令和4年度は、看護師も増え、利用者を増やしているが、訪問の需要回数が少ない利用者が多く件数が減少したままとっている。

訪問診療（月2回）+ 往診（《適宜》）		39名程度
看護	患者数	30～36名程度
	訪問件数	273～363件/月（平均322件）

➤ 人員体制

医師	1名
正看護師	3名
准看護師	2名
理学療法士	1名

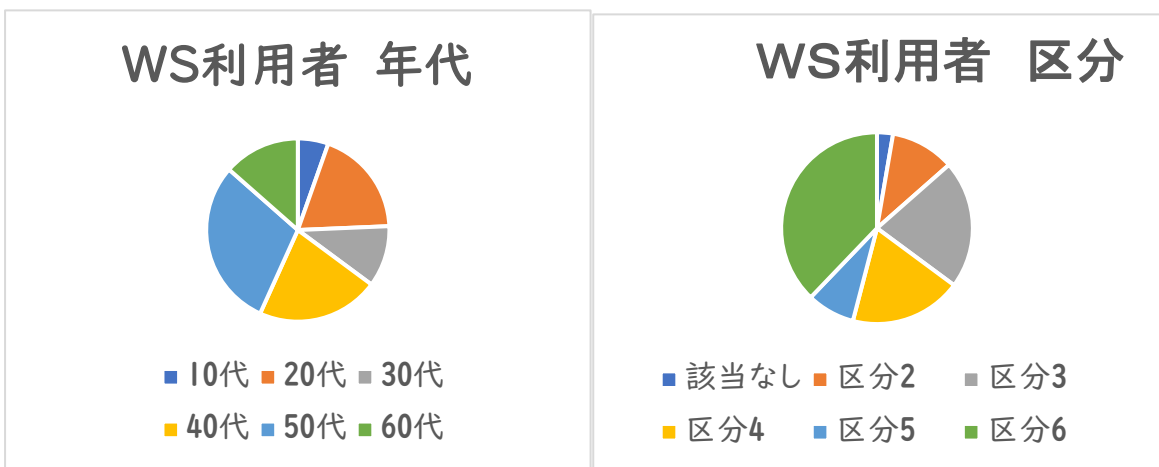
WORKSTATION りべるたすの事業報告

➤ 利用状況について

■WORK STATION りべるたす利用状況

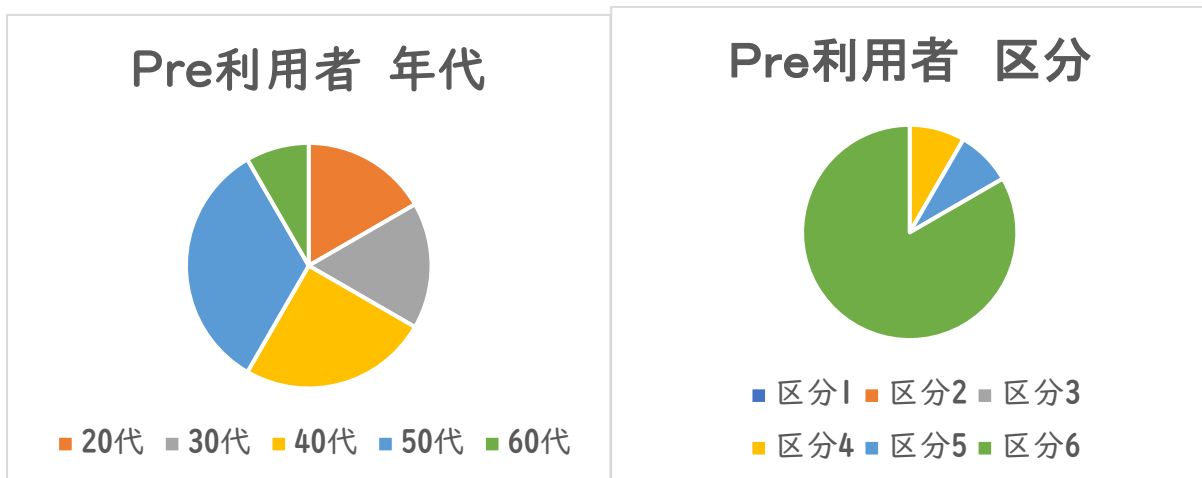
前年に引き続き学校卒業後利用を希望される方は多い。本来施設を經由して就労し利用終了の流れが理想だが卒業後利用されている方は区分が高く難しさがある。その為若い人の割合が前年+今年度で増えている。また開所年数と共に当初から利用されている方の高齢化も進み、60代の割合が増えてきている。

登録人数 40名 | 日平均登録者数 29名



■pre WORK STATION りべるたす利用状況

利用者様は大半が区分6で医ケア(注入・吸引等)が必要な方となっている。平均年齢も前年度はGH入居の方のみの利用であったため高かったが、在宅から利用のお若い方が数名入られたため多少引き下げられている。登録人数 12名 | 日平均登録者数 9名



■サービス内容の充実と、各通所施設の連携を重視した運営体制の整備

・WORK2 の稼働開始

今まで主として来た車椅子の方などが行う施設内での作業ではなく、施設外にて行う作業を主としたグループとして施設スペースを拡大し稼働を開始。今まで環境と提供サービスの関係で力を発揮しきれなかった精神疾患等をお持ちの当事者の方(事務作業やPC作業よりも体を動かすことが得意な方たち)が力を発揮できる作業を継続的に行うと共に、地域との連携を目指したサービス提供をおこなっています。

利用者数

WORK①からの移動・・・2名

新規利用開始・・・2名

WORK①との併用・・・4名(外販等)

利用開始予定(調整中)・・・1名

計 平均 5名前後

作業内容

- ・長洲タオル洗濯、納品、管理(法人内委託)
- ・お弁当訪問販売販売(内部作業)
- ・Amazon商品ピッキング(外部委託作業)
- ・施設内物品管理納品(内部作業)

今後の予定・・・川戸にて行う各種作業

・preにて外部の利用者様の受け入れを開始

花見川方面 1名(毎週火曜日利用)、浜野方面 1名(毎週木曜日利用)

計 2名

(外部受け入れに伴う調整内容)

- ・送迎ルートの再調整、自施設での管理へ
- ・送迎担当職員の増員
- ・送迎車の増台

■外今後の展開を見据えた人材育成の強化と、職員体制の整備

毎月通所リーダー層による事業会議を実施

その他サービス間で連携した全体研修を、リーダー層主体にて実施

- ・サービス間連携研修・虐待研修・医ケアに関する研修
- ・その他サポカレ動画研修を随時実施

喀痰吸引等研修

コロナ禍において、研修の定員を半数にして密にならない状況を作りながら、研修時間も短縮して行ってきました。受講をお断りするケースが多かったです。

R4年度 月日	喀痰吸引等研修		重度訪問従事者養成研修		実地研修
	受講者数	合格者数	統合版	重度のみ	終了証発行数
4/24	8	8			11
5/29.30	5	5	2		44
6/26	8	8			124
7/24.25	6	6			42
8月					38
9/25.26	7	7			56
10/30	8	8			22
11/27.28	6	5	1		31
12月					52
1/29.30	8	8			87
2/26	6	6			32
3/26.27	8	8			56
	70	69	3	0	595

研究事業

令和 4 年度は実績なし

地域貢献事業

■買物支援

平成 30 年より引き続き、毎週木曜日の 11:00～参加者それぞれのお宅を車で訪問し、近所のスーパー二か所（ベルクスとマミーマート）にて隔週交互に買い物をし、ご自宅へお送りしました。

	登録者	参加者延	開催回数
4 月	6 名	14 名	4 回
5 月	6 名	11 名	3 回
6 月	6 名	22 名	5 回
7 月	8 名	16 名	3 回
8 月	12 名	18 名	3 回
9 月	12 名	34 名	5 回
10 月	12 名	27 名	4 回
11 月	13 名	24 名	3 回
12 月	13 名	25 名	4 回
1 月	13 名	18 名	3 回※コロナの影響で 1 回中止
2 月	13 名	19 名	3 回
3 月	13 名	33 名	5 回

■ゴミ出し支援

平成 30 年度から引き続き、ゴミ出し支援が必要な方に対し、火曜日と金曜日の週 2 回 17 時ごろに各お宅をゴミ収集のために訪問し、当法人のゴミステーションで保管する支援を行っています。

りべるたす新型コロナウイルス感染対策方針

- 1 手洗いと手指アルコール消毒、手荒れ防止のスキンケア、咳エチケットの徹底を行います。

ドアノブ、ベッド柵、手すり等を触った手で、自分の顔、利用者、他の職員への直接の接触をしないことを徹底する。ドアノブ、ベッド柵、手すり等を触った手は、必ずアルコール消毒または手洗いをを行うことを徹底する。

- 2 発熱者は、利用者・職員ともに、法人で経過管理します。

- 3 マスクの使い方の徹底（サージカルマスクについてはWHOの基準の通り、発熱者や風邪症状がある人を介護するときのみ使用。備蓄に限りがあるため施設内アウトブレイクに備えます）

- 4 新型コロナ感染者発生時の隔離想定シュミレーションを早急に行います。

- 5 面会制限は感染状況に応じて対応します。

- 6 「3密」を防ぎます。離れていられるときには離れる、換気を一定間隔で行います。

- 7 グループホーム入居者の方には、公共交通機関を利用しないこと、多くの人が集まる場所に行かないことをお願いすること。